

1. 神戸以西の状況

JR 神戸線は震度7の三ノ宮・六甲道付近が不通となった。それより西側の区間も被害はあったが、比較的早くに仮復旧で列車を走らせた。



神戸 - 須磨間は、一部列車線を使って仮復旧した。

上の2枚はいずれも鷹取駅で撮影。

左上：上り電車線を使って下り電車を走らせた。

右上：下り列車線上には583系が放置されたまま。

左下：列車線上に崩れた民家を横目に神戸へ向かう普通電車。(鷹取 - 須磨間)

2. 長田区内の様子

テレビなどで連日大きく報道された長田区内では、JRの沿線でも街が広範囲にわたって焼失した。



3枚共：新長田 - 鷹取間で撮影。

焼け跡を走る普通電車。

明石側から電車で被災地に入ると、須磨までの風光明媚な景色が一変して、空襲の焼け跡の如くの景色が展開、電車内の乗客の顔がこわばった。

3. 仮線での運行

兵庫 - 須磨間は大きく壊れた新長田駅を通過扱いとし、一部列車線を使って上り電車を走らせた。



左上：上り列車線を行く普通電車。

右上：同じ場所を南側から

左下：下り列車線を使って快速運転も始まった。写真の真ん中やや上あたりに上りの普通電車が仮駅に止まっている。

4. 復興への足音

三ノ宮付近の工事が完了し、神戸止まりだった電車は灘駅まで行けるようになった。



左上：鷹取工場内の上り列車線を走る普通電車。工場東側に仮のホームもできて、そこで乗り降りしていた。

右上：灘行の普通電車。7両固定の201系は、一時期編成を6両と8両に組み替えて、6両×2本の12両編成で朝の通勤輸送に当たった。